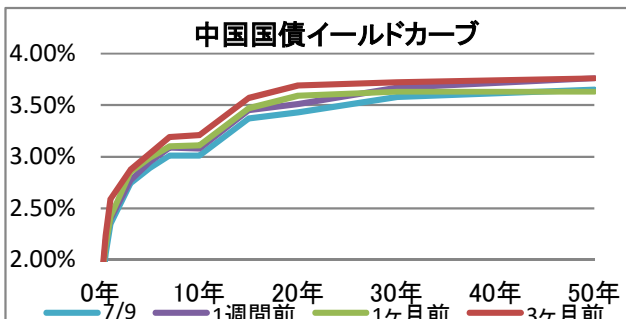
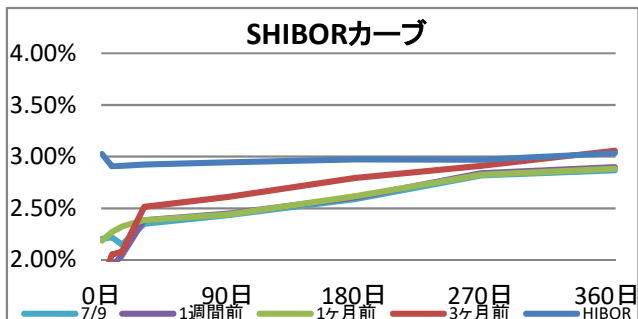


①市場概況

基準レート		2021/7/9	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.4755	0.0043
	JPY/CNY	5.8970	0.0979
SHIBOR	3M	2.4350%	-0.0140%
国債利回り	10年	3.01%	-0.07%
上海総合指数		3,524.09	+5.33



(1) 概況

欧州や日本での新型コロナウイルス感染再拡大が懸念され、米中間では中国の中国企業の海外市場上場規制や米国が経済ブラックリストに中国企業を追加する見通しが伝わる等の対立拡大が懸念される状況となる中、金融市場は米国が独立記念日明けとなり材料も乏しく、総じて小動きの中で流動性に支えられたしっかりの展開となった。

中国金融市場では、週半ばに国務院が預金準備率引き下げに言及すると債券市場で10年国債利回りが3%を下回る低下となったものの、株式市場はインターネット企業規制強化や銀行収益悪化を懸念して上値重く、外為市場では小幅な値動きが続いた。

中国人民銀行は9日、MLF期日や納税期限を前に15日からの預金準備率の0.5%引き下げを決定。これにより長期資金を1兆元放出することとなり、資源価格の上昇が続く中で、金融政策の安定を維持し、流動性を経済成長に見合うレベルに調整し、中小企業やグリーンエネルギーや技術革新等への支持を続けるとしている。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日1,100億元及び中央国庫現金管理商業銀行定期預金期日700億元に対し、新規リバースオペ100億元/日により500億元を実施し、差し引き1,300億元を吸収している。

(3) 主な経済指標

- ・財新サービス部門PMI (6月) は50.3 (5月55.1)、総合PMIも50.6 (5月53.8) に低下。拡大水準は維持しているもののいずれも14ヶ月ぶりの低水準。新規受注の減速が活動を鈍化させ、雇用指数は悪化に転じている。
- ・CPI (6月) は、前年比+1.1% (5月+1.3%) と、豚肉価格を主因とする食品価格の低下により5ヶ月ぶりに前月を下回り、前月比では非食品価格も横ばいとなったことから4ヶ月連続でマイナスとなっている。
- ・PPI (6月) は、前年比+8.8% (5月+9.0%) と資源価格調整政策の効果もあって8ヶ月ぶりに前月を下回ったものの高止まりの状況。資源価格上昇による購買価格の上昇が続く中で、生活用品出荷価格の低迷により出荷価格は下落に転じており、企業業績の悪化が懸念される状況が続いている。

②資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	2.2060%	2.6060%	2.2400%	
1W	2.2200%	2.6000%	1.7500%	2.0000%
2W	2.1490%	2.1000%	7.0000%	2.1200%
1M	2.3510%	6.9000%	2.4000%	2.2800%
3M	2.4350%	4.1000%	2.7000%	2.4200%
6M	2.5890%			2.6900%
9M	2.8180%			2.8000%
12M	2.8680%	4.1000%		2.8250%

足下の資金需給は充足されながらもターム物の金利水準が下がり難い状況が続く中、週後半に中国人民銀行の預金準備率引き下げ期待は高まったものの、ターム物は1ヶ月の2.4%前後での出合いを除き限定的。

NCDは、長めの期間を中心に活発な取引が続いたものの、ターム物期日が四半期越えとなることから金利水準は下げ渋る状況が続いている。ターム物の金利水準は、1ヶ月が2.2%台、3ヶ月物は2.4%台、6ヶ月が2.6%台、1年が2.8%台での取引となっている。

(2) 米ドル資金 (本土内)

	BID	OFFER
ON	0.04%	0.05%
1W	0.05%	0.06%
1M	0.10%	0.12%
3M	0.23%	0.25%
6M	0.30%	0.35%
12M	0.45%	0.50%

資金余剰の状況が続いており、ターム物の金利水準は、1ヶ月は0.10%、3ヶ月は0.25%前後での取引が中心となっている。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.82%	2.05%	2.32%	2.54%	3.05%
6M	2.06%	2.29%	2.59%	2.69%	3.17%
1Y	2.35%	2.39%	2.77%	2.82%	3.32%
3Y	2.74%	3.83%	3.09%	3.23%	3.91%
5Y	2.89%	3.13%	3.35%	3.49%	4.35%
10Y	3.01%	3.34%	3.74%	3.82%	4.70%

債券市場では、国务院が7日に預金準備率の引き下げに言及すると大幅に上昇（利回りは低下）して10年国債の利回りは3%を下回っていたものの、金曜日には調整からやや売られる展開となった。中国人民銀行は同日夕刻に15日からの預金準備率の0.5%引き下げを発表している。

イールドカーブは、週前半は材料難から大きな変動はなかったものの、預金準備率引き下げへの期待が高まると下方にシフトして若干スティープ化し、クレジットスプレッドは短期が先週の反動から縮小に転じる一方で、中期ではほぼ変化は見られなかった。

④先物為替市場

	USD / CNY
1W	29.4 / 29.5
1M	138.5 / 139.2
3M	431.6 / 434.5
6M	835.0 / 838.0
9M	1210.0 / 1219.0
12M	1589.0 / 1592.0

対ドル基準レートは、6.4755と前週末比+43pipsのドル高元安、対円基準レートは5.8970と同+979pipsの円高元安と、対ドルでは6.47を挟む狭いレンジ内での設定が続いた。国内市場でも米長期金利の低下による金利差拡大もあって小幅な値動きが続いていたものの、中国の預金準備率引き下げ期待が高まるとドルの下値が切り上がる格好で6.48台に乗せている。

先物は、米中の金利差拡大や中国市場への資金流入により、1年物のスワップ幅は一時1600台を上回っていたものの、週末には一旦1500台に戻している。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.32%		2.12%
6M	2.36%	2.49%	2.13%
9M	2.38%	2.56%	2.16%
1Y	2.40%	2.63%	2.16%
3Y	2.61%	2.98%	2.38%
5Y	2.78%	3.22%	
7Y	2.91%	3.38%	
10Y	3.05%	3.55%	

スワップ金利は短期の基準金利が高止まる中で預金準備率引き下げ期待が高まったことから、長めの期間ほど金利水準が大きく低下する格好でフラットニングが進んでいる。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドは、短期はスワップ金利の低下が限定的な中で国債利回りが低下して拡大する一方、中期ではスワップ金利が大きく低下したことにより縮小を続けている。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。